

# 2 基本目標

## 基本目標Ⅰ 気にかける・つながる・支え合う地域づくり

こどもから高齢者まで、障がいの有無にかかわらず、人と人とのつながりにおいて、お互いが配慮し存在を認め合い、支え合うことで、地域で孤立せずその人らしい生活を送ることができるような「気にかける・つながる・支え合う地域づくり」を進めていきます。

### 施策の方向性

- ① 多様な主体による地域福祉活動
- ② 地域福祉の担い手の育成
- ③ いきいきと健康で自分らしく暮らすための支援
- ④ 避難行動要支援者への支援
- ⑤ 地域福祉推進のための財政基盤の強化

### ○ 地域共生社会のイメージ図



出典:厚生労働省ホームページ 地域共生社会のポータルサイト

# 第4章 基本目標の達成に向けた具体的な取組

港区地域福祉計画を進めるにあたっては、SDGs(持続可能な開発目標)の達成を目指して積極的に取り組みます。



## 基本目標1

## 気にかける・つながる・支え合う地域づくり



### ① 多様な主体による地域福祉活動

#### 取組の方向性

日常生活や災害時に障がいのある人や高齢者など支援が必要な人を見守ったり互いに支え合っていくためには、地域におけるつながりと支えあう関係づくりが不可欠です。地域におけるつながりの重要性について、より多くの人々が理解し、地域で様々な人やグループ、団体が主体的に活動できるよう、地域福祉の取組を推進していきます。

#### ア) 区社協による地域福祉活動への支援

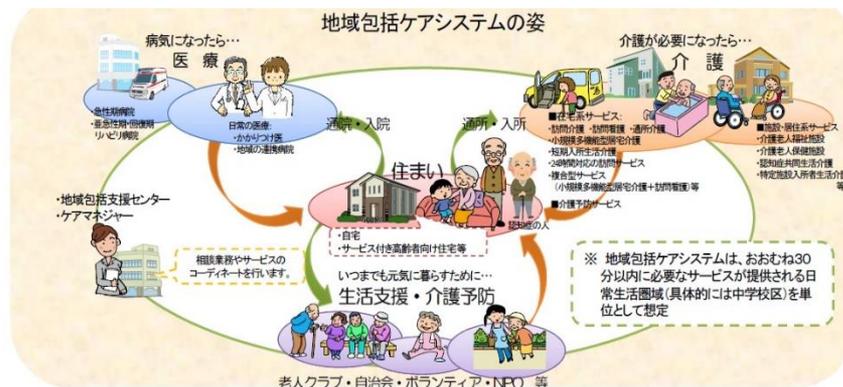
- だれもが地域で安心して暮らしていけるよう、より身近な地域福祉の課題の解決を図るために、各地域で策定した「地域福祉活動計画」を実行にできるような必要な支援を行います。

#### イ) 企業や各主体・各団体の福祉活動への参加の促進

- これまで地域福祉活動に関わっていなかった企業や各主体・各団体にも働きかけて、地域の見守りの仕組みや居場所づくりを充実します。

#### ウ) 多様な主体との協働したネットワークの構築

- 重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現するため、関係機関との連携を引き続き進めていきます。
- 地域福祉の向上と楽しみながら福祉を考えるきっかけづくり、また多様な団体・ボランティアグループなどと協働したさまざまなネットワークの構築を目的に、「みなとふれあい福祉のひろば」等の取組を支援し、地域に広く福祉についての理解を深めます。



出典:厚生労働省(一部を抜粋)

## エ) 地域における地域福祉活動の実施に向けた継続的な支援

- ・ 「地域活動協議会」が「まちづくりセンター」等の支援を受け、ビジネス的手法や多様な支援手法などを活用して地域福祉活動を実施できるよう、取組を支援します。

## ② 地域福祉の担い手の育成

### 取組の方向性

これまで地域福祉活動の中心的な役割を果たしてきた人たちだけでなく、若い世代など地域福祉活動への関わりが薄かった人たちにも地域福祉活動を身近に感じ参加できるように取り組みます。

## ア) 地域福祉活動をはじめのきっかけとなる情報発信

- ・ 「港区ボランティア・市民活動センター」では、住民・地域のニーズに合わせた講座等を開催するなど、地域課題の現状を踏まえた取組を行うとともに、ボランティア活動情報紙の発行により、登録ボランティアの取組や、学校・企業・施設での地域に根ざした活動の様子を広く住民に周知します。
- ・ サロン活動や百歳体操などの介護予防活動といったさまざまな地域福祉活動やボランティアの情報を集積・発信するとともに、地域福祉の担い手の発掘や育成を促進します。
- ・ 福祉とは直接的に関連のない分野で地域の活動を支えている担い手たちに対しても、今後福祉活動への参画につながるよう、情報提供・情報共有・活動する場面づくりの支援等を行います。

## イ) 福祉に関する広報啓発

- ・ 将来の地域の担い手となる小中学生に対しては、学校において、体験学習等を通じて思いやりや助け合いの心がはぐくまれるよう福祉教育を推進するとともに、大阪が誇りとする社会福祉の歴史や港区のまちの歩み、魅力を学ぶ機会を提供し、地域への愛着や支えあう心を育成します。
- ・ 広く地域住民に対する地域福祉活動の理解を促進するため、子育て支援や障がい者・認知症高齢者等を取り巻く課題等についての講演会等を開催するとともに、地域福祉活動の担い手に対する研修会や交流会を開催します。

## ウ) 地域福祉活動の支援・バックアップ

- ・ 地域福祉活動をやりがいや充実感をもって継続してもらうため、区役所と社会福祉協議会が連携して、活動の支援やサポート体制を強化します。

### ③ いきいきと健康で自分らしく暮らすための支援

#### 取組の方向性

一人ひとりが「自分らしく生きる」ためには、地域とつながりながら暮らし続けていくこと、また、それを実現するには、公的なサービスだけでなく、地域のさまざまな力が必要であるため、地域福祉がとて重要となっています。支援が必要なときも自分らしく生きることを支援するという権利擁護の視点を基盤として、すべての取組を進めていきます。

#### ア) 自分らしく暮らすことを支援する地域づくり

- ・ 「いきいきサロン」や「子育てサロン」、世代間交流を促す「ふれあい喫茶」など、高齢者やこどもたちを自然な交流の中で見守り支える地域社会づくりを進めていくため、「居場所」を増やす支援を行います。また、生きづらさを抱える方の参加しやすい「居場所」づくりも支援していきます。
- ・ 支援の必要な障がいのある人や高齢者等の買い物や身の回りのことなどを住民同士でサポートするマッチングの仕組みを普及し、障がいのある人や高齢者など要支援者の在宅生活の支援を促進します。
- ・ サロン活動や介護予防活動などを通じ、高齢者が役割や生きがいを持って暮らしていけるような地域づくりを進めます。
- ・ 障がい者の自立支援を進めるため、計画相談支援及び障がい児や相談支援を利用している人をよりニーズに合ったサービスの利用に結び付くよう周知利用を進める必要があります。
- ・ 大切にしていることや、望んでいること、どのような医療や介護を受けたいかについて、ご自身で考えたり、信頼する人たちと話し合ったりする、「人生会議【ACP】アドバンス・ケア・プランニング」の普及にかかる取組を大阪市港区在宅医療・介護連携推進会議等において進めます。



#### イ) 健康寿命の延伸

- ・ 住民の主体的な運動習慣づくりや健康づくりのきっかけとなるよう、11月を港区健康月間とし、区内の企業や団体、グループ、関係機関などと連携し、「健康フェスタ」をはじめ多彩なイベントや講座などを開催して幅広い住民の参加を促します。
- ・ 24区の中でも、平均寿命・健康寿命が短く、がん検診や特定健康診査の受診率が低い港区の現状を踏まえ、健康寿命の延伸に向けて取り組むとともに、疾病の早期発見につながるよう、がん検診や特定健康診査を受診しやすい環境整備など、受診率の向上をめざします。
- ・ こころの健康は「生活の質」に大きく影響するものであるため、いきいきと自分らしく暮らすために、「広報みなど」での周知や「みなどこころの講座」などを開催して、こころの健康づくりの啓発に取り組みます。

## ④ 避難行動要支援者への支援

### 取組の方向性

自主防災組織等と連携しながら避難行動要支援者の個別避難計画の作成等、避難支援等の一連の活動が適切かつ円滑に実施されるよう取り組みます。

### ア) 避難行動要支援者に支援できる体制づくり

- ・ 災害時に避難行動要支援者を的確に支援できる体制づくりを、地域の中で日常の見守り活動を行う団体（町会、民生委員、ネットワーク委員等）と自主防災組織、福祉サービス事業者等が連携して進めます。
- ・ 高齢者・障がいのある人などの避難行動要支援者を含む住民が、災害時に少しでも円滑な避難生活が送れるよう、平時から地域とのつながりを持ち、災害に対する備えができるよう、自助・共助の理解を促進します。また、福祉避難所に対して避難所開設訓練等の実施を働きかけます。

### イ) 個別避難計画の作成

- ・ 災害時に自力での避難が難しい方の命を守るために、一人ひとりの避難場所、避難方法、避難を支援する方（支援者）等を決めておく「個別避難計画」の作成を進めていきます。
- ・ 過去の災害で多くの高齢者や障がいのある人が犠牲になっていることを受けて、災害対策基本法が令和3年5月に改正され「個別避難計画」の作成が市町村の努力義務となり、おおむね5年で「個別避難計画」を作成することになっていることから、港区では自主防災組織と日頃の見守り活動を行っている方々と連携しながら計画的に作成していきます。



## ⑤ 地域福祉推進のための財政基盤の強化

### 取組の方向性

あらゆる地域福祉活動で財政基盤を整えていくため取り組みます。

### ア) 活動資金の調達に向けた取組

- ・ 地域住民と共同募金・赤十字募金・善意募金に取り組むとともに、活動資金調達に向けた助成金情報等を提供して地域福祉推進のための財政基盤の強化を図ります。

## ■基本目標Iの成果目標

	平成28年度 実績値	令和元年度 実績値	令和4年度 実績値	令和8年度 目標値
区民モニターアンケートにおいて「ご近所どうして『声かけ』『見守り』『助け合い』『支え合い』が行われている」と答えた区民の割合	55.9%	48.4%	47.1%	55%以上
区民モニターアンケートにおいて「身近な場所で実施されている地域福祉活動のことを知っている」と答えた区民の割合	—	28.9%	50.8%	60%以上
区民モニターアンケートにおいて「地域福祉活動が活発に行われている」と答えた区民の割合	36.0%	32.8%	65.1%	75%以上
区民モニターアンケートにおいて「住んでいる地域(港区内)は高齢者や障がいのある人、子どもにとって住みやすい」と答えた区民の割合	45.9%	46.8%	64.3%	70%以上
区民モニターアンケートにおいて「災害が発生した時、お住いの地域で助け合うことができる」と答えた区民の割合	52.0%	51.2%	50.3%	70%以上